

児童福祉論

《担当者名》片山 寛信 katayama@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

子どもと家族の現状をふまえた上で、その課題やニーズに対する、児童福祉に関する制度や政策についての基本的な理解を得ることを目的とする。特に、子どもという存在の特性を理解した上で、児童福祉の理念と発展過程、児童福祉法と機関、児童福祉の実際、子どもの貧困と人権問題の現状、児童福祉の課題について考える。

【学修目標】

1. 日本の児童福祉施策の概要と課題を説明できる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会的な状況について理解する。
3. 子どもの存在の特性と子どもの人権について説明できる。
4. さまざまな状況にある子どもの存在とそれに対する制度・政策、実践を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション こども家庭福祉の理念と基本的理解	受講上の諸注意 こども家庭福祉とは こども家庭福祉の理念 について説明できる。	片山
2	こども家庭福祉の基本的考え方	こども家庭福祉の基本構造 こどもの最善の利益 こども家庭福祉サービスの最近の動向 について説明できる。	片山
3	こどもの人権・権利保障	こどもの権利と親権 こども育成の責任 こどもの権利保障の歩みと体系 こども家庭福祉制度の展開 について説明できる。	片山
4	こども・家庭の生活実態と取り巻く 社会環境	こども・家庭の生活実態 こども・家庭を取り巻く社会環境 こども・家庭の福祉ニーズの実際 について説明できる。	片山
5	こども家庭福祉制度における関係機 関と専門職の役割 1	国・都道府県・市町村の役割 児童相談所の役割 について説明できる。	片山
6	こども家庭福祉制度における関係機 関と専門職の役割 2	こども・家庭の支援にかかわる組織・団体の役割 関連する専門職等の役割 について説明できる。	片山
7	母子保健 子育て支援	母子保健サービス 地域における子育て支援 について説明できる。	片山
8	こども家庭センターの実際	地域における虐待予防と子育て支援の連携について実 践を知る（特別講師：千歳市子ども家庭総合支援拠点 佐藤氏）	片山 佐藤 薫（特別講師）
9	保育・児童の健全育成 障がい児福祉	保育・児童の健全育成 障害児福祉をめぐる現状・課題 障害児にかかわる施策 障害児福祉における社会福祉専門職の役割 について説明できる。	片山
10	スクールソーシャルワーク こどもと家庭にかかわる貧困、女性 の福祉	学校と福祉 スクールソーシャルワークの基本理解と役割 こどもと家庭にかかわる貧困 DV防止の支援 ひとり親家庭への支援	片山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		について説明できる。	
11	こども虐待への対応 1	こども虐待を理解するための視点・前提 こども虐待の現状と対応 について説明できる。	片山
12	こども虐待への対応 2	こども虐待の定義と対応の基盤 社会的養護の基本理念 について説明できる。	片山
13	社会的養護 1	社会的養護の仕組み 社会的養護の支援段階（アドミッションケア～インケ ア） について説明できる。	片山
14	社会的養護 2	社会的養護の支援段階（リービングケア～アフターケ ア） 社会的養護の現状と新しい社会的養育ビジョンが示す 今後 について説明できる。	片山
15	子ども家庭福祉サービスの動向と展 望 まとめ	子ども家庭福祉の総括と今後の課題について説明でき る。	片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験（筆記試験）70% 授業毎レポート（リアクションフォームによる小レポート）30%

【教科書】

社会福祉学習双書 2026 第5巻 児童・家庭福祉・『社会福祉学習双書』編集委員会 編

【参考書】

最新・社会福祉士養成講座「児童・家庭福祉」第2版 中央法規出版
子ども家庭福祉：子ども・家族・社会をどうとらえるか 生活書院

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「児童・家庭福祉」に該当する。また、教職課程（福祉）では、教科に
関する科目の「高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉」に該当する。

【学修の準備】

【予習】（2時間）

次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
不明な点について文章化しまとめておく。

【復習】（2時間）

授業内容についてまとめ、考察を行う。
不明点がある場合は、教員に質問するなどの対応を行い、解決しておく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実
践的能力を身につけている。

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用】

Google Form を活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する、小レポートを課します。

【実務経験】

社会福祉士

(2026年度・看護福祉学部)

【実務経験を活かした教育内容】

児童養護施設や障がい者(児)相談支援事業所における、ソーシャルワークの経験を生かした実践的教育を行なう。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している